

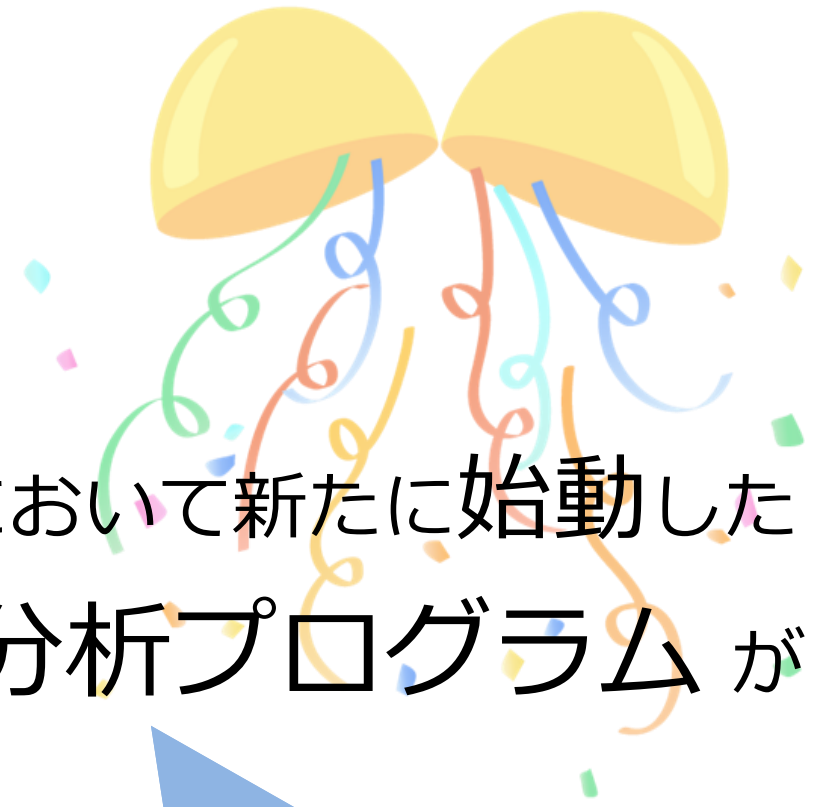
2024年度！

経営学部

高度情報分析プログラム

説明会

2023年 10月 3日 (火)



経営学部において新たに始動した
高度情報分析プログラムが4年目を迎えます！

2024年度
第4期生募集！

高度情報分析プログラムの目標

情報化社会における
ビジネス・プロフェッショナルの養成

● 企画・調査・情報収集能力



● 情報分析能力



● プレゼンテーション能力



企画・調査・情報収集能力



大量のデータが簡単に得られる時代

求められる能力

的確な企画・調査,
適切な情報収集と情報の選別

➡ 本プログラムでは、正しい情報収集技術を学びます。

関連する科目

総合分析 A, 総合分析 B,
情報分析演習

…など

情報分析能力



得られたデータから有益な情報を獲得したい

求められる能力

正確なデータ分析,
分析結果に基づく的確な判断

➡ 本プログラムでは、データ分析の達人を目指します。

関連する科目

総合分析 A, 総合分析 B,
情報分析特殊講義,
…など

プレゼンテーション能力



分析結果を共有するために

求められる能力 分かりやすい発表資料の作成,
様々な広報技術の活用

➡ 本プログラムでは, スマートなプレゼンテーション能力を養います.

関連する科目 マルチメディアプレゼンテーションA,
マルチメディアプレゼンテーションB

…など

総合能力の育成

企画・調査・情報収集能力



情報分析能力



プレゼンテーション能力



➔ 総合能力：これらの3つの能力をまとめる能力

関連する科目



情報分析演習（プログラム所属の2年生の必修科目）
（プログラムのメンバーのホームルーム的な授業）

マルチメディアプレゼンテーションA, B
総合分析A, B
情報分析特殊講義

…など

「高度情報分析プログラム」受講のメリット

- プログラム修了者には「修了証」を授与します。
- 単位の年間履修上限(通常は40)が44になります。
- 楽しいです。(← 重要！)

オープンバッジ

成蹊大学は学びの成果の見える化を進めて推進しています。副専攻制度、各学部のコースや特別プログラム、丸の内ビジネス研修（MBT）などを修了した学生に対し、オープンバッジ（デジタル証明書）を発行します。

知識・スキル・経験のデジタル証明であるオープンバッジは、「学位」とは別に、在学中に身に



経営学部 高度情報分析プログラム

情報を論理的に整理し分析していくため「企画・調査・情報収集能力」「情報分析能力」「プレゼンテーション能力」を学び、実際のビジネスで役立つ総合的な能力を育成するプログラム。

経営学部 高度情報分析プログラム 

一般財団法人オープンバッジ・ネットワーク 

経営学部のリアル

高度情報分析プログラム

ビジネス実務で役立つ総合的な能力を学ぶ



高度情報分析プログラムは、複雑な情報を論理的に整理し、「この情報から何が言えるか、何が言えないか」を分析していく能力が高い学生に、特別に提供される上級のプログラムです。単にパソコン操作に習熟するだけでなく、「企画・調査・情報収集能力」「情報分析能力」「プレゼンテーション能力」の3つの能力をバランスよく学べるようになっており、実際のビジネスで役立つ総合的な能力の育成を目指しています。



教員からのメッセージ

情報の収集から表現まで、 学年の枠を超えて取り組む

経営において、「情報」を活用することは近年ますます重要になってきています。一方で、「情報」は漠然とどこかにあるものではなく、意図して収集し、加工・分析を行い、表現することが求められます。さらに、新しいツールに習熟することや情報倫理の問題について考えることも必要です。このプログラムではそのような諸課題について取り組むだけでなく、積極的に学びたい学生同士が学年を超えた議論なども行う、魅力的なプログラムです。



学生からのメッセージ②

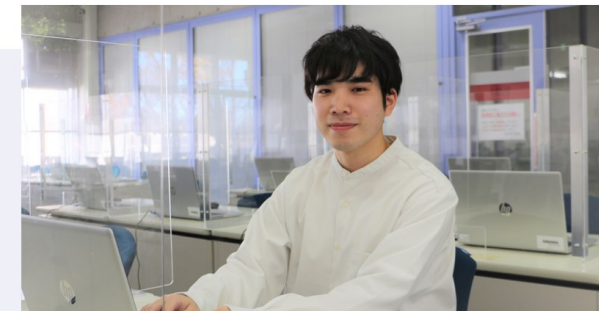
学ぶ意欲の高い学生同士が集まり切磋琢磨する

私が高度情報分析プログラムに参加したのは、今後必ず必要になる情報を分析する能力を身に付けたいと思ったからです。実際にこのプログラムで学び、情報を分析するスキルに加え意見を発信するスキルも上がったと実感しています。選抜制のため学ぶ意欲の高い学生同士が集まり切磋琢磨できる環境が整っていてとてもやり甲斐のあるプログラムです。また、1年間で履修できる単位数が増加することも決め手のひとつでした。増えた分の単位数は、プログラムに関連する授業や専攻制度の授業など、興味のある分野の知識を深めるために活用しています。

学生からのメッセージ①

写真や映像を用いた プレゼンテーション技術を学ぶ

このプログラムで印象に残っている授業は、「マルチメディアプレゼンテーションA」です。主に写真や映像を使ったプレゼンテーションを行う授業で、中でも映像制作は楽しみながら取り組みました。動画編集などの技術を学ぶことはもちろん、チームメイトとスケジュールを調整し、制作の計画を立てるなど、映像を完成させる過程で多くの新しい体験をすることができました。このプログラムは仲間との出会いや貴重な体験ができる場を提供してくれます。少しでも興味を持っている方はぜひ挑戦してください。



プログラムを構成する科目群 (予定)

プログラムの 専属科目

(高度情報分析プログラムに **所属する**
学生だけ が履修できる科目群)

- 情報分析演習
- 総合分析 A, B
- マルチメディアプレゼンテーション A, B
- 情報分析特殊講義

プログラムの 指定科目

(高度情報分析プログラムに **所属して**
いない学生も 履修できる科目群)

- プログラミングの基礎
- 情報産業
- 情報コミュニケーション技術
- 多変量解析
- ビジネス・モデリング
- ロジカル・シンキング&ライティング
- 実証研究の方法
- ケーススタディの方法

プログラム修了単位数

(注) ○印の数字は、当該科目の単位数を表す。

科目区分		1年次	2年次	3年次	4年次	修了に必要な単位数	
高度情報分析科目	必修		情報分析演習②			2	12
	選択		マルチメディアプレゼンテーションA② 総合分析A② 情報分析特殊講義② マルチメディアプレゼンテーションB② 総合分析B②			6以上	
その他指定された科目	選択	プログラミングの基礎②					
		情報産業② 多変量解析②		情報コミュニケーション技術② ビジネス・モデリング②			
		ロジカル・シンキング&ライティング② 実証研究の方法② ケーススタディの方法②					

2023年度 後期 の「情報分析特殊講義」 開講科目

情報分析特殊講義（SNSと情報倫理）

SNSと関連して顕著になってきている情報倫理の問題について、受講者によるグループワークを行い、さまざまな観点から議論する

情報分析特殊講義（ソーシャルメディア研究）

- SNSの課題と問題点
- SNSで問題が起きる理由と背景，心理について
- SNSの課題・問題に対する対策を知り，課題に対して対策できるようになることをテーマとする。

募集について

応募受付

10月 3日（火）～ 12月 8日（金）

応募方法

SEIKEI PORTAL のアンケートに高度情報分析プログラムに応募するための項目がありますので、それに回答する形で応募してください。志願理由などもそこに書いていただきます。

応募について困ったことがあれば以下に連絡をどうぞ。

メールアドレス：[adapアットマーク \(@\) bus.seikei.ac.jp](mailto:adap@bus.seikei.ac.jp)

高度情報分析プログラムの人数について

- 高度情報分析プログラムは各年度 25名が定員です。
- 25名を超えた応募者がある場合には、志願理由の内容と成績（GPAなど）で選抜します。
- 25名以下の応募者の場合にも、無条件で全員が高度情報分析プログラムに入れるわけではありません。

選抜方法と結果の通知時期など

選抜の方法

今年度の後期までの成績と志願理由の内容を総合的に判断して、高度情報分析プログラム登録者を選抜します。

選抜結果の通知時期

3月頃を予定しています。

志願理由の内容や、全般的な科目の履修状況により、当人の能力や適否性を総合的に判断します。

応募をすることで、損をすることはありません。

さあ、応募しましょう！

積極的な応募をお待ちしております。

高度情報分析プログラム問い合わせ先

問い合わせ先メールアドレス：

[adap \(@\) bus.seikei.ac.jp](mailto:adap@bus.seikei.ac.jp)

Webページ：

<https://www.seikei.ac.jp/university/keiei/department/gba/special.html>